

ご挨拶

株式会社バルカー
代表取締役会長CEO

瀧澤 利一



令和3年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。
読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの世界的蔓延により多数の製造業やサービス産業は大幅な活動の制約を受け、グローバルの経済は約90年前の大恐慌以来の景気の落ち込みを記録いたしました。しかしながら、他方では5GやAI技術の進化により各種の社会活動において取り扱われるデータ量の爆発的な増大が生まれ、また産業界でのリモートワークの急増に伴う需要増加も影響し、半導体関連を中心とした産業分野においては、むしろ活況を呈している状況となっております。このように、追い風と逆風が吹き荒れる市場環境に加えて、本年は米国の大統領選挙結果による、「自国第一主義」から「多国間主義」への再転換の動きを始めとして、地政学的に複雑化する世界情勢の中で、企業は今こそ現状の変化の本質を異なった視点から見直し、顧客の皆さま、市場に対して新たな付加価値を提供していくことが重要となっております。

当社グループは創業来、製品開発、事業展開、海外進出などあらゆる面への挑戦を続けることにより、バルカー (VALQUA) の社名の由来ともなっている“価値 (VALUE)” と品質 “(QUALITY)” を創造し、社会の発展と人びとの豊かな暮らしの実現に貢献してまいりました。そのような歴史的な軌跡と、現在そして未来に向けて当社が置かれている状況を鑑みれば、当社は今こそ改めてこの革新的な精神に立ち戻り未知の領域を切り開いていく決意を持ち行動を実践することが必要であると考えます。そのような決意を具現化するために、昨年に創業100周年 (2027年) に向けた長期経営目標として、人類の豊かさと地球環境に貢献する「未来と未知に挑むチャレンジングな企業」を目指すことを明確とし、各種の経営目標を定めて発表いたしました。

このような背景の下、当社グループは当期から3か年中期経営計画 “New Frontier 2022” (NF2022) に沿って、将来の回復・成長に向けた戦略を推進してまいりました。この中期計画においては、H&Sコンセプトを実践していくためにオープンイノベーションを強力に実行することでグループ全体の開発技術力を向上し、顧客の皆さまの製品やプロセスのパフォーマンスを最大化させることに貢献出来る革新的なソリューションを提供してまいり決意です。その実践において、特に2021年を変革元年と位置付けて、過去の成功体験に拘ることなく失敗を恐れず大胆に新たな試みにチャレンジする企業風土へと変革し、皆さまとともに健全で持続的な成長を実現してまいり所存です。

最後になりましたが、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げますとともに、読者の皆さまの益々の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。